

環境保全活動を推進

▶ISO9001 認証

社長室、環境ソリューション部、EM推進部、上下水道部、I・S部、開発営業部、総務部、業務管理部、調査分析センター、知多事業所、碧南事業所、長野営業所、関東営業所、(株)エステム長野で認証取得しています。

▶ISO14001 認証

本社、調査分析センター、保繕工事業部、小牧営業所、豊田営業所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、東海営業所、豊橋営業所、浜松営業所、知多事業所、安城浄水事業所、三重支店、(株)エステム三重で認証取得しています。

▶ISO55001 認証

本社 下水道処理施設の維持管理及び技術の支援部門 並びに 長久手南部事業所及び東海市食品工場廃水処理施設に関する運用技術部門。
2016年9月29日にISO55001の認証を取得し、2019年8月6日に日本初の民間施設で認証を取得しました。ISO55001はアセット(資産)を管理する仕組みをまとめたISO国際規格です。エステムはお客様のアセット(資産)をお預かりし、維持管理をしています。今回取得したISO55001の仕組みを用いた管理を実施することで、更にお客様に安心と信頼をご提供できるよう活動を続けます。



2022 環境 Environmental Communication Report

コミュニケーション レポート



主な受賞、認定ほか

<p>自動車エコ事業所認定 自動車エコ事業所</p>  <p>2009年12月認定 (愛知県主催)</p>	<p>なごやSDGsグリーンパートナーズ認定エコ事業所</p>  <p>2003年5月認定 (名古屋市主催)</p>	<p>第44回グッドカンパニー大賞 優秀企業賞</p>  <p>2011年1月受賞 (公益社団法人中小企業研究センター主催)</p>	<p>子育てサポート企業認定 「くるみん認定」</p>  <p>2022年12月更新認定 (厚生労働省主催)</p>
<p>ファミリーフレンドリー企業登録</p>  <p>2010年8月登録 (愛知県主催)</p>	<p>女性の活躍推進企業認定</p>  <p>2010年3月認定 (名古屋市主催)</p>	<p>名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業認定</p>  <p>2017年8月認定 (名古屋市主催)</p>	<p>あいち女性輝きカンパニー認定</p>  <p>2019年4月更新認定 (愛知県主催)</p>




[所在地]

本社	〒457-0821 名古屋市南区弥次工町2-19-1	TEL (052)611-0611(代)	FAX (052)612-9384
調査分析センター	〒457-0821 名古屋市南区弥次工町3-22-1	TEL (052)612-9801	FAX (052)612-7504
東京支店	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7 YOUビル 3F	TEL (03)5645-2360	FAX (03)6661-2964
三重支店	〒514-2221 津市高野尾町1897-48	TEL (059)230-0099	FAX (059)230-1902
安城営業所	〒446-0056 安城市三河安城町2-26-1	TEL (0566)74-0422(代)	FAX (0566)76-9558
豊橋営業所	〒440-0842 豊橋市岩屋町字岩屋下96-2	TEL (0532)65-3033	FAX (0532)65-3020
小牧営業所	〒485-0084 小牧市大字入鹿出新田字郷前1169-1	TEL (0568)75-3471	FAX (0568)75-4084
豊田営業所	〒470-0334 豊田市花本町宇津木136番地	TEL (0565)47-2288	FAX (0565)46-1710
浜松営業所	〒433-8117 浜松市中区高丘東5丁目6-8	TEL (053)436-7611	FAX (053)438-3944
関東営業所	〒340-0206 埼玉県久喜市西大輪3-21-4	TEL (0480)59-3877	FAX (0480)59-3887
大阪営業所	〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町3-15-23 フォレスト阿倍野905号	TEL (06)6626-3610	FAX (06)6626-3620
長野営業所	〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島5223-1	TEL (0264)24-2008	FAX (0264)24-2009
環境研究所	〒440-0842 豊橋市岩屋町字岩屋下96-2	TEL (0532)65-3020	FAX (0532)65-3020

作成およびお問い合わせ先

株式会社エステム 総務部 TEL:052-611-0611(代) FAX:052-612-9384
URL: <http://www.stem.co.jp/>

 ※この環境コミュニケーションレポートは、ベジタブルインクを使用しています。



ごあいさつ

新型コロナウイルスの感染が広がり既に2年以上が経過し、世の中は本当に大きく変わりました。この原稿を書いている2022年5月の時点では、ワクチン接種も進み以前より軽症で済むようになってきているとはいえ、私たちの生活は感染を防ぐための様々な制限に包囲されています。

レジリエンスという言葉があります。回復力、復元力といった意味を持ちます。私たちはこのコロナ禍でいくつもの大切なものを失いました。身近な方を亡くした方もいるでしょう。でも、これからはまさにレジリエンスを身につけ、この状況からどう回復していくかが問われているのだと思います。在宅勤務をきっかけに仕事を属人化しない仕組みを構築したり、オンラインでの会議や研修を可能にすることでこれまで以上に学ぶ機会、出会う人が多様化したような良い面も少なからずあったと思います。顔を見てのコミュニケーションの大切さを再認識し、その時間を慈しむ気持ちも生まれました。これからはそうやって物事の良い面を見つめながら、しなやかに回復していく過程が必要とされていると感じます。

エステムの仕事は、人間の社会活動の結果壊されてしまった自然環境を回復させる仕事です。コロナ禍の中でも、皆様の生活を守り、地球の未来をより良いものにしていくため、今後もレジリエンスを高め社会に貢献したいと考えています。

何事も「今まで通り」が困難な中でも「水を中心とする環境文化と安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献する」という経営理念に基づき、新たな方法を見出しチャレンジし続けるエステムグループを、これからもよろしく願っています。

なお、本レポートに関するご意見、ご感想がありましたら、当社スタッフまで頂ければ幸いです。

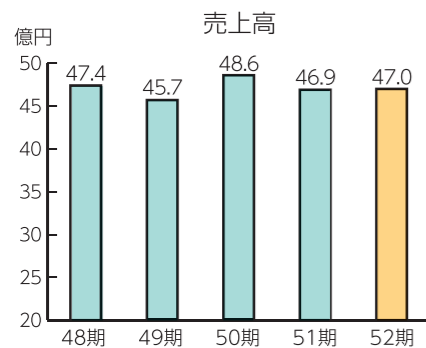
株式会社エステム
代表取締役社長

塩崎 敦子

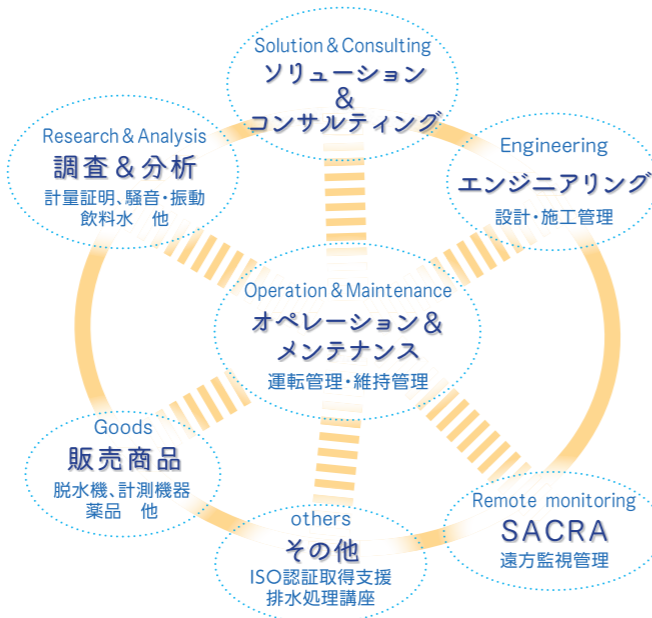


会社概要

商号	株式会社エステム
本社所在地	〒457-0821 名古屋市南区弥次工町 2丁目19番地の1 TEL:052-611-0611 (代) FAX:052-612-9384
設立	昭和45年(1970年) 7月
資本金	7,000万円
従業員数	446名(2022年4月現在)
代表者	塩崎 敦子
グループ会社	(株)アイ・メッツ (株)エステム三重 (株)エステム長野 (株)日新技術コンサルタント



<エステムの環境技術>



エステムのコア事業はオペレーション&メンテナンス(環境施設の運転管理、維持管理)です。「エステムに依頼すれば何事も必ず満たしてくれる」。真のお客様第一主義を徹底するため、長年の維持管理経験で培った技術力を基に、日本一のサービスを提供することがエステムの基本です。

経営理念

株式会社エステムは水を中心とする環境文化と、安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します。

環境・品質方針

エステムグループは水を中心とした環境保全事業を推し進めます。正確さ、誠実さをモットーに「安心」と「信頼」を提供し、「お客様第一主義の徹底」、「自然環境と生活環境の保全」を実行することを基本理念とします。

- 基本理念を実現するために、次の項目を重点項目とし、環境・品質目標を各部門で設定して活動します。
 - 納期を厳守し、お客様のお求めになるサービス・製品を提供
 - 事業活動に伴う省資源・省エネルギーの推進
 - 改善提案力および問題・課題解決力の向上
 - 環境整備を推進
 - 環境問題の啓発活動・ボランティア活動を推進
- お客様要求事項、関連する法規制およびその他要求事項を順守します。
- お客様満足度を向上させるために、環境・品質マネジメントシステムを継続的に改善します。
- SDGsの目標達成に貢献することを視野に入れ、環境負荷の低減、環境汚染の予防、環境保護を推進し、かつ生物多様性に配慮した事業活動を行います。
- 本方針は必要に応じて見直しを行います。また全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します。

SDGsを手掛かりに、今できることに確実に取り組み、改善のあゆみを止めない

SDGsでは2030年までに達成する人類共通の17の目標が掲げられています。これらの目標が「達成できている未来がある」という前提で「バックカスティング」の思考で作られているのがSDGsです。

一般的に何か目標達成に向けて行動するとき、前例・実績・資源を踏まえて未来に価値を創造するという手順が採用されます。これは「フォアカスティング」の手法で、過去の経験・現在のリソースを活かしやすく、短期的実行力があるというメリットがあります。しかし、あくまでも経験の範囲内でしか考えられないため、未来の計画には向いていないこともあります。

バックカスティングでは「現在の延長線上にはない、誰も経験したことのない未来」にむけて取り組むので、経験の範囲を超えた案が出る、これまで見ていなかったものが見える、といったことが期待されます。

SDGsには目標とターゲットが定められていますが、その実施について国連で詳細に決められているわけではありません。ルールではなく、目標を設定することで世の中を動かす「目標ベースのガバナンス (Governance through Goals)」という形態がとられています。

実施手段が詳細に決まっていないからこそ、バックキャストとフォアキャストの両方の手法を駆使し、積極的な価値創造にSDGsを手掛かりに取り組んでいくことになります。

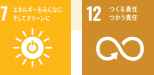
「今できることに確実に取り組み、改善のあゆみを止めない」その手掛かりはSDGsにあると言えるでしょう。



第52期環境管理計画(2020年10月～2021年9月)主な目標と実績

方針	52期目的・目標	52期実績と今後の課題	本社/ 各部署
1. 環境関連法規則等の遵守			
法令、条例、協定などを遵守し、地域の配慮事項を尊重します	法令、条例について違反はしていません。また訴訟はありません。		本社
2. 環境負荷の低減活動を推進			
省資源・省エネルギー化を推進します	自動車適正走行により燃費 14.7km/L	全車平均の燃費は 15.0km/L でした。 ※ 48期から「e 燃費」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 14.8km/L と決めました。この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。	本社
	低排出ガスを導入	ハイブリット車の保有台数は 18 台です。 52 期の新規導入はありませんでした。	本社
	電気料金削減	①従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所(8 か所)も含めた合算で算出することとしました。48 期を基準とします。 ②調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行いました。 ③毎週水曜日をノー残業デーとし、仕事の効率化を呼びかけています。	本社/ 8 営業所
廃棄物の削減、リサイクルを推進します	廃棄物を 100% 分別	本社では 3R ステーション(5 分別)を設置し、100% 分別実施しています。 各営業所でも分別を推進しています。	本社 各部署
	紙の 100% 分別・リサイクル	古紙回収システムを確立し、100% 分別、リサイクルをしています。	本社
3. 啓発活動・ボランティア活動を推進			
社員一人ひとりが環境問題に対する関心と知識を深め、啓発活動・ボランティア活動を推進します	エコ・ルール推進	月 1 回エコ・ルールのチェックを実施しています。	本社
	中国・内蒙古自治区における植林	中止	本社
	鳳来寺つげ野の森育林活動	中止	本社
	木曾福島の水源の森林づくり活動	中止	本社
	清掃ボランティア実施	本社周辺：毎週火曜日の朝礼後に実施しています。	本社
		地域清掃：名古屋市南区、長久手市(毎年 2 回～毎月 1 回実施しています) 各地区： 豊橋市：530 運動 2021 年 5 月 25 日 7 人参加 三重県：町屋海岸清掃 2021 年 3 月 27 日 10 人参加	本社 各部署
環境フォーラム開催	2021 年 6 月 4 日開催(オンライン)	本社	
4. 環境保全活動を推進			
環境保全活動、環境管理システムの継続的改善、向上に努めます	ISO14001 認証	本社、調査分析センター、保繕工事事部、小牧営業所、豊田営業所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、東海営業所、豊橋営業所、浜松営業所、知多事業所、安城浄水事業所、三重支店、(株)エステム三重で認証取得しています。	本社
5. 環境・品質方針の周知徹底と情報公開			
環境・品質方針を全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します	内定者への教育、購買先、協力会社へ環境・品質方針の周知	内定者を対象に入社前通信教育を実施したほか、購買先、協力会社への環境・品質方針の送付も行いました。	本社
	環境・品質方針を社会に公開	ホームページ上で公開しています。	本社

環境負荷低減活動推進



燃費 (対象：全社)

全車平均の燃費は 15.0km/L でした。48 期から「e 燃費」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 14.8km/L と決めました。この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。並行してハイブリッド車の導入も進めていきます。

※ e 燃費 URL <https://e-nenpi.com/>

電気料金 (対象：本社及び 8 営業所)

- 従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所(8 ヶ所)も合算で算出することとしました。48 期を基準年といたします。
- 調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行いました。
- 毎週水曜日をノー残業デーとし、仕事の効率化を呼びかけています。

	48 期	52 期
電気使用量合計 (kWh)	506,609	531,822
金額合計 (円)	11,457,815	12,295,997
CO2 排出量 (t)	262.4	261.7

太陽光発電 (対象：本社、調査分析センター、豊橋営業所)

2008 年 10 月から本社ビル屋上に、2017 年 1 月から調査分析センターに、2017 年 9 月から豊橋営業所にも太陽光発電システムを設置し、現在も稼働しています。

廃棄物の 100% 分別実施 (対象：本社)

52 期の実績は以下の通りです。100% 分別しています。

	49 期	50 期	51 期	52 期
金属屑	316.0	289.0	355.3	351.7
金属付廃プラ	358.0	493.9	492.7	380.0
廃プラ 廃ゴム	1538.1	1389.7	1177.3	1438.8
紙・木 繊維屑	158.8	280.4	120.1	117.0
ガラス屑 陶磁器屑	139.4	176.5	212.3	208.9
廃油	371.7	272.9	446.7	314.9
計	2882.0	2902.4	2804.4	2811.3

(単位：kg)

2021 年 4 月に本社 2 階と 3 階のエアコンを更新。より省エネになりました。



2019 年ごろからエアコンの調子が悪く、2020 年冬にエアコンの取替を検討し始めました。2021 年 4、5 月に取替工事を実施しました。その時の主な課題と解決内容は次のとおりです。

課題	解決内容
① エアコンの調子が悪い。	① エアコンの調子が良い。
② 騒音・振動発生施設として名古屋市に届出をしている。	② 騒音・振動発生施設の対象外となった。
③ 省エネ化したい。	③ 省エネの機種に取替、消費電力が減った。(取替後の平均消費電力 1200kwh 減)

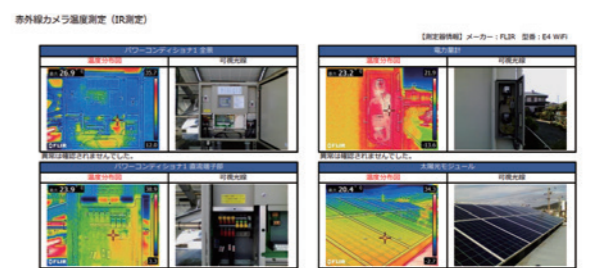
今後も省エネを進めていきます。今期も 4、5 月に本社 1、4、5 階のエアコンの更新を予定しています。

2021 年 11 月に本社、調査分析センター、豊橋営業所の太陽光発電のメンテナンス点検を実施しました。



エステムが所有している太陽光発電システムは、本社、調査分析センター、豊橋営業所の 3 か所にあります。2021 年 11 月に改正 FIT 法に基づき、専門業者による点検を実施しました。

その結果、3 か所ともパネル発電容量は定格の 90% 以上、状態も良く、異常はありませんでした。定期点検は 4 年に 1 回実施します。劣化度を考慮した今後の運用計画も含めて管理を行ってまいります。



ボランティア活動推進

地域清掃ボランティア実施 (対象：本社、各営業所、事業所)



- **本社** … 1990年、ある社員の「道路に落ちているゴミを一緒に拾いませんか？」の一言から始まった活動です。毎週火曜日の朝礼後に本社周辺のゴミ拾いをしています。

● 豊橋営業所 … 2021年5月25日 豊橋530運動 清掃ボランティア

豊橋営業所 小洞 晴菜

530運動とは、「ゴミを捨てない」、「自分のゴミは自分で持ちかえる」ことによって「美しく住み良い、環境にやさしいまちづくり」を推進する運動であり、昭和50年(1975年)に豊橋市から始まり、全国に広がったものです。530運動では、公衆道徳や生活環境美化の意識を育むとともに、自然環境に対する高い関心とモラルを持った未来人の育成を使命としています。豊橋営業所では、この運動に共鳴し、毎年5月の下旬頃、会社周辺のゴミ拾いをしています。今回収集したゴミには、たばこの吸い殻、ポリ袋、お菓子の袋をはじめ、今年はコロナ禍ということもあり、使い捨てマスクが多く見受けられました。特に近年、マスクは需要の増加に伴い、「コロナゴミ」として、思わぬ弊害を発生させています。ポイ捨てされたマスクは環境汚染を拡大さ

せ、野生動物に死をもたらす脅威になります。実際にコロナが流行した2020年に、約15億枚以上の使い捨てマスクが世界中の海に廃棄されています。また、プラスチックである使い捨てマスクは自然分解するまでに約450年かかると提唱されており(waste free oceans 参照)、紫外線や風化によってマイクロプラスチックとなったマスクが野生動物の生態系を崩す原因になります。今回の530運動より、豊橋市もこの問題に直面していることが伺えました。

本当のゴミゼロを目指すためには、ゴミを拾う活動をするだけでなく、何故ゴミを捨ててはいけないのか考え、伝えることが必要であると感じました。



- **川と海のクリーン大作戦 中止** / ● **小牧市民まつり 中止** / ● **長久手市530運動 中止**
- **安城市内一斉清掃ボランティア 不参加**

● エステム三重 … 2021年3月27日 町屋海岸清掃

エステム三重 服部 エリコ

今回の清掃ボランティアは、昨年と同じ、三重県津市にある町屋海岸にて実施しました。当日の天候は晴れており、気候も穏やかな日でした。エステム三重にてボランティアを開催し、計10名で行いました。

昨年の話を聞いていると大量のゴミがあったそうですが、今年は時期的なことや、日頃のボランティア活動をしてくださっている方々のおかげで、想像していたほどのゴミはありませんでした。ですが、よく見ないとわからない小さなゴミがたくさんあり、より徹底した清掃が出来たのでは

ないかと思います。この海で捨てたのか、海に流れ着いたのか、拾ったゴミがどこから来たのかはわかりませんが、どちらにしても人が捨てたものに変わりはありません。やはり、一人ひとりが意識をすることが環境を守る第一歩なのだと、このボランティアに参加して改めて感じました。今後も機会があれば積極的に参加していきます。



愛知県 岡崎市の水道水源の保全に向けた事業連携による取り組み 「未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」岡崎市と協定締結

岡崎市の水道水源の保全の取り組みである「未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」推進に向け、水道事業に携わる企業・団体の一つとしてエステムも協定に参加しました。

チャリティーカレンダー展へのカレンダー寄付 (対象：全社)

年末年始にはお客様や協力会社から頂いて余ってしまったカレンダーや手帳類を広島ケナフの会主催のチャリティーカレンダー展へ送付しています。全国から善意で寄せられたカレンダーや手帳は1点100円で販売され、その収益金があしなが育英会に寄付されたほか、全国の被災地にある仮設住宅や福祉施設等にも寄贈されました。

古切手、プリペイドカード回収 (対象：本社)

古切手や使用済みプリペイドカードを集め、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンターに届けています。これらは資金化され、アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどの母子保健、寄生虫予防、栄養改善等の生活改善運動に活用されています。

環境シゴト博の開催

今年度の環境シゴト博



2022年に開催した環境シゴト博は、コロナ禍の中、例年よりオンライン日程を大幅に増やして開催しました。オンラインでは12月から2月にかけて6日程、対面では2月に1日程行いました。

エステムをはじめ、水処理、土壌処理、廃棄物処理事業など、環境に関わる企業が出展企業として集結しました。オンライン開催ということもあり、東海地方以外の企業の出展もありました。また、参加者の方も、全国の様々な学校から環境に興味のある学生が集いました。

会場開催日の2月22日には、マスクの着用、アルコール消毒、パーティション設置、ブース少人数制などの感染症対策を徹底した上で開催に臨みました。各企業のPRタイムでは、弊社社長の塩崎が環境シゴト博というイベントを企画した経緯、環境に関わる仕事に対する想いなどを熱く語り、学生の皆さんに真剣に聞いていただきました。

エステムでは、社長自らブースに登壇して、来場いただいた方とお話させていただいています。今回は少人数制ということもあり、一人一人とじっくりお話しする時間を取ることができました。その他にも、若手の現場社員に仕事内容を直接聞くことができるブースで、実際の水処理場の水を持ち込み、簡易な水質分析(パケット)体験なども行いました。ブースに来場された学生の方は、処理される前や後の水の見た目やにおいに興味津々のようでした。当日は応用生物学部、理工学部、農学部を中心に、文系学科の学生まで、さまざまな学生が来場してくださいました。

環境シゴト博はこれからも継続的に開催予定です。
エステムグループは、これからも、
新しい仕事に進んでチャレンジしていきます!



初級技術研修

「実践的な技術者の人財育成を推進しています」



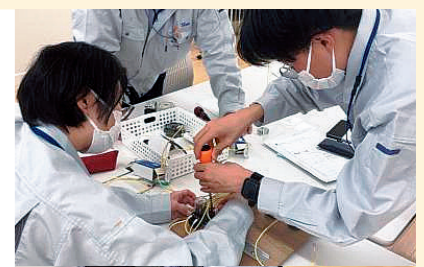
エステムでは、2004年から新入社員を対象とした技術研修を続けています。業務で必要とされる知識・技術を体系的に学び、お客様へのサービス向上を目的としています。

具体的には、「法律」「水処理」「機械」「電気」「SACRA」のテーマ毎に、月一回、1年間にわたって学びます。また、実際の排水処理場に訪問して学習する現場見学、リレーシーケンスや小型水中ポンプの分解組立を行う実技研修、チームに分かれて排水処理場を設計する「総合演習」もあります。

講師は全員、エステムの現役社員。最近は入社3年目～5年目の若手社員も、積極的に講師に挑戦しています。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、集合研修とオンライン研修の2本柱で開催しています。また、紙媒体だったテキストを電子化し、配布されたタブレットで受講者がいつでも閲覧できるようにしました。加えて、文字や写真では説明しにくい技術的な事項を動画という形で教材化し、新入社員が学びやすい講義づくりを進めています。

テキストや動画をタブレットで確認しながら、講師の話を聞いたり、グループで話し合ったり、新しい研修の形ができつつあります。



第30回環境フォーラム

経営理念に謳う「環境文化」の発信、SDGsの取り組みとして、1991年から30年に亘り、毎年『環境フォーラム』を開催しています。各分野で活躍される専門家をお招きし、私たちの未来と環境について共に考える機会を提供しています。



2021年環境フォーラム 委員長感想

SACRA センター 加納 譲治

2020年、第30回という記念の回にあたる環境フォーラムは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、約30年間で初めて「延期」となりました。しかし、あくまで「延期」であって、翌2021年にはなんとか開催に漕ぎ付けました。これもまたWeb配信という初めての方法をもってしての開催でした。それから、開催の様子を配信可能な動画にして、事後配信を行いました。

コロナ禍にあって何とか開催できる方法をと、悩みもあつちつ選んだ開催方式でしたが、Web配信としたことで、時間と距離を越えて多くの方々にフォーラムをお届けすることができました。結果的に総参加者数は1,000人を超えることとなり、時代と状況の変化の中で、やるべきことができたのではないかと考えています。

今回のフォーラムは記念すべき30回目ということもあり、かなりの意気込みをもって臨んでいました。参加して下さる方々に「水の価値」を再認識していただき、共にこれからの水のことを考え、明日からの行動に生きる何かを持って帰っていただきたい、というのが、フォーラム委員が設定した目標でした。

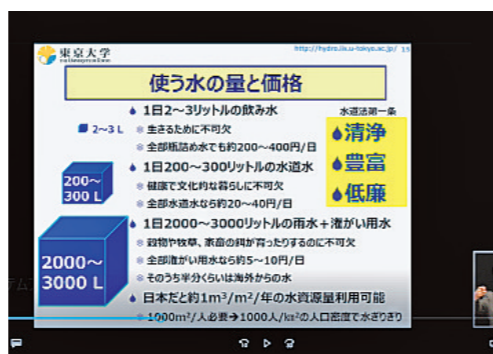
特に同じ業界の方々、エステムの社員には、自分の仕事の価値も改めて見つめ直してもらいたい、「我々は共に水の未来を創っていく同志」と感じていただきたい、という思いも同時に詰め込んでいました。

そういった思いから、開催は会場で、という気持ちが強く、「延期」「Web配信」を検討する際には、「会場で開催する意味」というものを改めて考えました。“一つの場所にみんなが集い、同じ空気感のなかで、同じ話を聞き、考える”それは替えがきかないことで、すごいことだったのだと、改めて痛感しました。

しかし、では、Web配信だと会場開催より劣ることばかりだったか、というと、そうでもありませんでした。Web配信にしたことで、時と場所を越えて、届けたい人、必要としている人に届けることができました。例えば、沖縄で見てくれていた人が実は沢山いました。うちの親父も宮城県の実家から参加してくれました。他にもWeb配信になったことで「参加しやすくなったよ！よかったよ！」と仰って下さる方が何人もいらっしゃいました。また、事後配信も実施したことで「見たかったのに見なかった」という人を減らすことができました。参加者の「あの人も見てもらいたい」という気持ちを活かせるようになりました。いつでもどこでも見られるから、本質的な内容と社外アピールの重要性がぐんと上がったと感じられました。

個人的に最もうれしかったことが二つあって、一つは、新潟の協業会社の人から「水処理の仕事に改めて誇りを持ってよ！」とメッセージが届いたこと。もう一つは、静岡大学の学生さんが事後配信を見てくれたことです。

これからは生きる第30回環境フォーラムとなって本当によかったです。



環境方針の周知徹底と情報公開

ホームページ

エステムでは事業内容、ボランティア活動などを紹介した「会社HP」と、「採用サイト」を運用しています。

会社HPでは毎月社員が交代で『今月のコラム』を連載しているほか、現場のトラブル解決事例や法令の改正情報を『工場排水.com』に掲載しています。採用サイト (<https://stem-saiyou.jp/>)は2019年に新しくリニューアルいたしました。ぜひご活用ください。



会社HP



採用サイト

環境コミュニケーションレポートの作成

社会的な説明責任の観点から、年1回、環境保全の取り組みや環境負荷低減に関するレポートを作成しています。バックナンバーはエステムHPの「環境活動」からダウンロードできます。

排水処理講座

コロナ禍でも排水処理に関する情報はお届けします！
～オンライン形式による排水処理講座の開催～



ソリューション営業課

株式会社エステムでは、全国の排水処理管理者を対象に、排水処理講座を開催しております。

2019年までは、会場を設けて講座を開催しておりました。しかし、コロナが蔓延し始めた2020年以降は、Zoomを使用したオンライン形式で講座を開催しております。

オンライン形式は、お客様の表情を確認しにくいですが、そのため、お客様の理解度に併せた講義進捗が難しくなりました。そこでZoom機能のチャットにて質問を随時受け付け、不明点を解消できる環境づくりに努めました。チャットでの質問は気軽にできるようになったのではないかと思います。また、オンライン形式での開催は、受講対象者の拡大へとつながりました。結果として、2021年度は全国の排水処理管理担当者様が受講して下さいました。また、全国の排水処理管理担当者様が参加して下さることにより、地域特有のお悩みを聞くこともできました。今後の排水処理講座の改善に活かしていきたいと思っております。2021年度の排水処理講座をご受講して下さいました方に対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

【2022年度の排水処理講座のご紹介】※6月、7月、9月、11月開催予定

2022年度もオンライン形式の排水処理講座を開催します。当講座は全部で4コース、各コース年4回にわたり開催を予定しております。受講は1コースから可能です。また、全コース受講していただくことで、排水処理に関する知識を網羅できるプログラム構成です。

各コースの詳細及び日程については、弊社HPに掲載しております。是非ご確認ください。

排水処理講座についてのご質問等ございましたら弊社までお問い合わせください。

多くの方のご参加をお待ちしております。

